資料２

令和５年度業務実績報告の概要

１．重点項目の進捗状況、成果及び評価

第３期中期計画の５年目となる令和５年度は、理事長のリーダーシップの下、「地域とともに　学生とともに」をキャッチフレーズに、引き続き様々な視点から大学改革を推進した。

重点分野１：県民からの期待に応える存在意義の高い大学

○学長を本部長とする魅力化推進本部は、県内の高校や自治体、企業などと連携して高大連携、県内就職、地域貢献、情報発信を推進・充実させ、大学の魅力化に積極的に取り組んだ。

○県内で不足する IT 人材の育成のため、浜田キャンパスにおける情報教育の充実強化を検討する委員会を立ち上げ、議論を行った。その結果、周辺大学における情報系学部の動向や受験生のニーズ調査、カリキュラムの編成や企業との連携等について、引き続き具体的な検討を進めることとした。

重点分野２：地域に貢献する人材を輩出する大学

○昨年度に続いて「KENDAI 未来アトリエ」（安来市）を実施した。7 月には「はまだ未来アトリエ」（浜田市）を開設し、公開講座や学生による地域活動の報告会、学生と高校生、市民との交流会「はまだファンタスカフェ」などが行われた。「石見銀山まちを楽しくするライブラリー」（大田市）では、年間を通して実践型教育が展開されたほか、施設を拠点としてゼミ活動、地域との交流事業が盛んにおこなわれた。

○卒業生とのつながりや、県内の企業、自治体および商工団体などとの連携の下で、学生と社会人の交流イベントや企業を知るバスツアー、業界研究会・合同企業説明会など、人材の県内定着につながる企画を実施した。

○既存の 4 事業所（株式会社ジュンテンドー、一般社団法人イワミノチカラ、NPO 法人てごねっと石見、島根電工株式会社）に加え、新たにトップ金属工業株式会社、カナツ技建工業株式会社、安来市役所で長期実践型キャリア教育（旧称：長期インターンシップ）を実施した。

重点分野３：地域が抱える諸課題に対応する研究及び教育を重視する大学

○しまね地域国際研究センターでは、島根県が抱える地域課題に関する研究等計 10 件分の研究を支援したほか、浜田市と 7 件、益田市と 3 件の共同研究を行った。これらの研究・取り組みを「KENDAI 縁結びフォーラム」で発表し、成果を地域に還元した。

重点分野４：国際交流・海外留学等の促進

○海外渡航を全面的に再開し、3 キャンパスの学生 162 名が海外研修や留学を経験した（韓国 80 名、アメリカ 33 名、中国 20 名、マレーシア 10 名、カナダ 6 名、台湾 6 名ほか）。また、国民大学校（韓国）と新たに包括協定・学生交流協定を締結し、学生のニーズが高い韓国留学の充実を図った。

○円安により研修費用の高騰が見込まれたため、研修内容及び日程などの見直しによるコストダウンや、海外研修等奨学金制度や後援会補助等の活用により参加学生の経済的負担を軽減した。

重点分野５：理事長学長のリーダーシップのもと機動的かつ戦略的な運営を行う大学

○資材費や人件費の上昇を反映し、大学運営シミュレーションを見直した。また、外部資金の確保のため、研究支援体制を強化し科研費獲得額の増額を目指すこととしたほか、令和 6 年度当初予算においては高止まりしている非常勤講師人件費を抑制するための予算編成方針を策定した。

２．業務実績の評価方法

○法人が自己評価を行い、これをもとに島根県公立大学法人評価委員会が検証・評価を実施。
○「大学の教育研究等の質の向上」以外の中期目標項目については、5段階で自己評価。
（「教育研究等」については、評価委員会が「特筆すべき点」「遅れている点」として評価）

３．実施状況

○自己評価の状況

	社会情勢の変化に的確に対応した大学づくり	自主的、自律的な組織･運営体制の確立に関する目標を達成するために取るべき措置	評価制度の充実及び情報公開の推進に関する目標を達成するためにとるべき措置	その他業務運営に関する重要事項に関する目標を達成するためにとるべき措置
R5	3.25	3.00	3.00	3.00

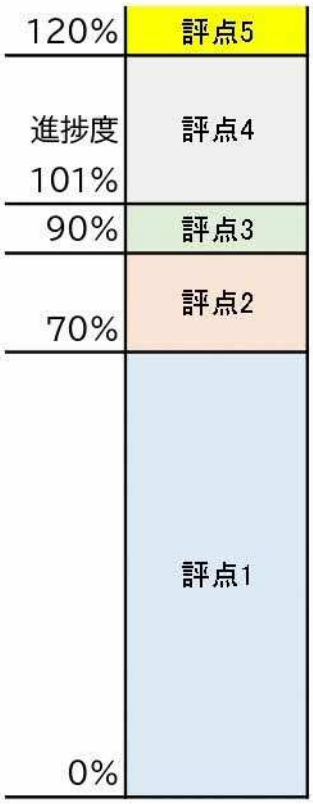
（評点）3:年度計画を概ね達成している。（達成度 91%～100%）

4:年度計画を上回っている。（達成度 101%～120）

４．総評

・令和5年度は計画を概ね達成し、順調に大学改革を推進できたものと判断する。
・一方で、志願倍率や FD（ファカルティ・ディベロップメント）の取組、科研費申請率、県内就職率などが課題として残っている。
・第3期中期計画の最終年となる令和6年度は、県内入学者の増加、教育の質の向上、研究支援、卒業生の県内定着に向け取組の強化を図っていく。また、コロナ禍が過ぎ海外渡航が本格的に再開される中で、海外との学生交流が一層活発になるよう支援を行っていく。

（参考）年度計画項目別評価の評価基準



５．報告書提出までのスケジュール

6/5　自己点検・評価委員会
6/10　理事懇談会
6/19　合同教授会
6/24　理事会・経営委員会
6/26　教育研究評議会
6月末　県公立大学法人評価委員会へ報告書提出
7/23　第2回法人評価委員会（出雲キャンパス）
8/6　第3回法人評価委員会（県庁）